

## 第 6 回全国高校生 S B P 交流フェア 募集要項

第 6 回全国高校生 SBP 交流フェアの開催はオンラインのみとさせて頂きました(2021/4/26 決定)

### 1. 趣旨

---

我が国は、少子高齢化や人口減少といった構造変化もあり、地方において厳しい状況となっています。地方によっては経済環境に厳しいところもみられますが、地方において経済の好循環が実現しなければ、「人口減少が地域経済の縮小を加速させる」という負スパイラル（悪循環連鎖）に陥るリスクが高くなります。

そして、このまま地方が弱体化するならば地方からの人材流入が続いてきた都市もいずれ衰退し、競争力が弱まることは必至です。地方において人口減少を克服し、将来にわたって我が国の成長力を確保するためにも、新たな国内外の有望成長市場を取り込みつつ地域づくりに対応できる人材の育成が急務となっています。

このため、郷土の愛情に育まれて成長した若者が自ら行動して、教養や実践的な問題解決力の習得を通じて、交渉力やコミュニケーション能力を有する「地域人材」として、リーダーシップを発揮しつつ、地域の課題に取り組み、新たな市場をも創造できる未来創造型リーダーの育成が求められています。

文部科学省は 2020 年 7 月 17 日に中央教育審議会の特別部会を開き、高校の普通科を 3 つに再編する案が示されました。これは現行の普通科に加えて地域やグローバル社会の課題解決のための学習を提供する学科をつくることを認めるものであり、私たちが必要と考える人材育成の流れでもあります。

このような背景を踏まえ、全国高校生 S B P（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）交流フェアは、全国の S B P 活動に関わる高校生を中心とした団体・グループが“取組の紹介”や“開発商品や企画の紹介・販売・発信”をしながら参加者相互の情報交換やネットワークの構築のための交流の場を提供しつつ、互いの評価等を通じてモチベーションを高めながら、さらに進化していくことを目的に開催するものです。

### 2. 主催

---

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

### 3. 後援・協力（予定）

---

以下は 2020 年に実施された第 5 回全国高校生 SBP 交流フェアでの実績となります。

#### ●後援

文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、農林水産省、厚生労働省、国土交通省、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会

#### ●協力

株式会社赤福、アドビシステムズ株式会社、NT GROUP、公益財団法人修養団、株式会社セブン銀行、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社、富士ゼロックス三重株式会社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、マルシェ株式会社、株式会社レオパレス 21、株式会社 LOCK 他

### 4. SBPとは

---

SBPとは、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトの略称であり、高校生ら若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の考え方に即して、ビジネス手法を取り入れながら、地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）の発掘・企画・開発・販売・発信等を通じて地域の課題を解決する「学びの機会」とともに、その取組を地域が関わり、応援し支えていこうというものです。SBPは、以下のような効果と成果を期待しながら活動を展開しています。

- ・ 高校生らの若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、地域の方々（地元住民、商工、行政、企業、NPO等民間団体等）とその解決を目指す事業であり、①「主体性」、②「社会性」、③「事業性」、④「革新性」の4要件を満たしており、活動成果として地域経済の活性化や新しい雇用ビジネスの創出に寄与する効果を期待します。
- ・ 地域にある宝（地域資源）を発掘し、地域づくりに結び付けながら、自己研鑽能力を高めることを期待します。
- ・ 地域課題に対して「ビジネス」の手法を用いて創意工夫しながら実践に取り組むなかで、企画立案・プロデュース能力を習得することを期待します。
- ・ 全国の高校生ら若者との交流を通じて、広域による新たなソーシャルビジネスの展開を期待します。
- ・ これらの活動を通じて、高校生らが「郷土愛の醸成」、「地域や地元に対する魅力発見・定着」、「地域の一員として地域活性化への貢献」等を期待します。

SBPは、三重県多気町にある相可高校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013年4月に三重県南伊勢高校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。そして今、この地域に根差した取組が全国に広がっています。

## 5. 開催日

現在（2021/4/26）の新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、第6回全国高校生SBP交流フェアは前回と同様に全ての日程をオンラインで実施します。

- プログラム1：令和3年7月31日（土）・8月1日（日）  
SBP チャレンジアワード本選（オンライン開催）
- プログラム2：令和3年8月22日（日）※オンライン開催に変更のため日程変更  
SBP チャレンジアワード決勝・交流会・表彰式（オンライン開催）

## 6. 日程及び会場

プログラム1のSBPチャレンジアワード本選の結果発表および講評は8月8日（日）10:00よりオンラインにて実施します。A・B・Cの各グループから2団体ずつ合計6団体が選出され、プログラム2のSBPチャレンジアワード決勝にて発表をおこないます。

### ●プログラム1：SBPチャレンジアワード本選（オンライン開催）

日程	時間帯	内容
7月31日 （土） グループ A	12:30	受付開始 ・Web会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	13:00	プログラム1 オープニング ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP チャレンジアワード本選（発表） ・参加団体の発表者が順番に発表をおこなう（5分ごと） ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施（5分以内） ・参加団体の半数の発表を終えた時点で休憩
	15:00	プログラム1 終了 ・閉会挨拶、全体での写真撮影
日程	時間帯	内容
8月1日 （日） グループ B	9:00	受付開始 ・Web会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	9:30	プログラム1 オープニング ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP チャレンジアワード本選（発表） ・参加団体の発表者が順番に発表をおこなう（5分ごと） ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施（5分以内） ・参加団体の半数の発表を終えた時点で休憩
	12:00	プログラム1 終了 ・閉会挨拶、全体での写真撮影

日程	時間帯	内容
8月1日 (日) グループ C	12:30	受付開始 ・Web 会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	13:00	プログラム1 オープニング ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP チャレンジアワード本選(発表) ・参加団体の発表者が順番に発表をおこなう(5分ごと) ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施(5分以内) ・参加団体の半数の発表を終えた時点で休憩
	15:00	プログラム1 終了 ・閉会挨拶、全体での写真撮影

●プログラム2：SBPチャレンジアワード決勝・交流会(オンライン開催)

日程	時間帯	内容
8月22日 (日) 午前	8:30	受付開始 ・Web 会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	9:00	プログラム2 オープニング ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介
	9:30	SBP チャレンジアワード決勝 ・本選から選ばれた6団体による発表(前半3団体、各10分) ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施(10分以内)
	10:30	15分間休憩
	10:45	SBP チャレンジアワード決勝 ・本選から選ばれた6団体による発表(後半3団体、各10分) ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施(10分以内)
	11:45	SBP チャレンジアワード決勝終了 ・お昼休憩
日程	時間帯	内容
8月21日 (日) 午後	13:00	オンライン交流会 ・全体交流・オンライン交流会の説明(15分) ・団体および参加者は用意された部屋へ移動し交流をおこなう ※入室する部屋や各交流時間は交流しやすいように事務局で調整します。
	14:00	オンライン交流会終了・休憩 ・結果発表・表彰の時間までは自由に交流可(14:30まで)
	14:30	結果発表および表彰 ・SBP チャレンジアワードの講評・特別賞発表 ・各特別賞審査員と各団体との交流 ※SBP チャレンジアワード以外の団体は別の交流を予定 ・結果発表(文部科学大臣賞・三重県知事賞・審査員特別賞他)
	15:30	閉会式・プログラム2 終了 ・閉会の挨拶 ・全体記念写真

## 7. 参加形態および参加費・宿泊について

### ●参加形態

SBP 交流フェアへは「SBP チャレンジアワード」「交流会」から希望のものを複数選び参加することができます。発表者や出展者でない場合も参加者としてご参加ください。

【参加形態と必要な手続き】 ◎…必須、○…任意、－…不要

参加形態	必要手続き	Web からの 申し込み	取組資料・ 動画の提出	発表資料 提出	出展の 申込み
SBP チャレンジアワードへの 参加（発表者として）		◎	◎	◎	－
SBP チャレンジアワードへの 参加（見学のみ）		◎	－	－	－
オンライン交流会への参加 （出展・企画者として）		◎	○	－	◎
オンライン交流会への参加 （見学のみ）		◎	－	－	－

### ●参加費について

全日程オンライン開催のため、費用は一切発生しません。

ただし、インターネット環境およびパソコン・Web カメラなどの機器が必要となります。これらの機器は各団体にて用意ください。Web 会議システムは Microsoft Teams を利用しますが、Web 会議への参加に必要なアカウントはこちらにて用意いたします。Web 会議の費用もかかりません。

## 8. 参加対象

・高校生たちが、さまざまな地域課題や社会的課題を市場ととらえ、「学び」と『実践』を通して地域（企業、商工関係、団体、行政等）と連携した持続可能なソーシャルビジネスに取り組む団体（高校等）及びSBP活動に関わる地域や企業の方々、行政関係者等

### ・SBPの趣旨に賛同でき、SBP活動として紹介しても良い団体

\*フェア全日程に参加できる団体を優先します。

\*SBPに限らず同様の取組をしている高校は多くあります。このフェアでは、自分たちの取組をモデルとして、他団体が同じことをしても構わないというオープンな姿勢で学び合える活動を目指しています。

\*フェアの中で撮影される動画や写真は後日、当団体のホームページや SNS、各種メディアに掲載されることがあります。事前にご了承願います。

- ・その他、これからSBP活動の立ち上げを検討されている方や、取り組みに関心のある方等

(注記) 全国高校生SBP交流フェアにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします（国立・公立・私立は問いません）。  
「高等学校」「中等教育学校の後期課程」「特別支援学校の高等部」「高等専修学校」  
「高等専門学校（第1学年から第3学年まで）」「その他これらに準ずる教育機関」  
ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

## 9. 参加部門の内容

---

### (1) SBPチャレンジワードへの出場

- ① 高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組を行っている団体である団体の代表者など主に取り組む者が「高校生」であることが要件となります。  
「高校生」以外の者が当該団体に所属又は活動に参加していても問題ありません。
- ② 原則として次の全ての要件を備えている取組を対象とします。
  - \* 主体性のある取組
    - 高校生が運営上の意思決定をしている
    - 団体・グループの活動規約等がある
    - 団体・グループの活動規約で参加者の役割が明確である
  - \* 社会性のある取組
    - 地域の課題を反映してその課題の解決に寄与している
    - 活動には地域・コミュニティとのつながり「絆（きずな）」がある
    - 地域行政、地元企業・団体等と連携している
  - \* 事業性のある取組
    - 事業が自立的で継続的である（取組中も含む）
    - 企業・団体等と連携している
    - クライアントの意見・声等を活動に反映している
  - \* 革新性のある取組
    - 新しい視点・手法を活動に導入している
    - 他の取組と差別化できている
    - 他の地域にも波及する可能性がある
- ③ 例外として、これまでに全国高校生SBP交流フェアの本アワードに応募したものであっても、発展性のある取組が見られるものについては再応募も可能とします。また、過去に本フェアにて文部科学大臣賞または三重県知事賞を受賞した団体の応募（ただし、受賞時と同じ取組に限る）においては、第1次選考は免除します。（応募資料の提出は必要です）

## (2) オンライン交流会への出展・企画

各参加団体の生徒や教職員・関係者が Web 上で用意された部屋を行き来し、交流を行っていただきます。部屋の移動や交流時間については事務局側で調整致します。また、希望する参加団体については SBP の発表の場として部屋の進行をおこなって頂くことを予定しております。

## (3) SBP チャレンジアワードの見学・オンライン交流会への参加

これらの取り組みに対して、交流フェアの様子を見たい、他の学校と交流したいといった要望も受け付けております。SBP の取り組みに興味がある場合、SBP 活動の取り組みを予定されている場合など生徒には刺激になります。ぜひご参加ください。

# 10. SBP チャレンジアワードでの審査方法・発表内容・表彰について

---

## (1) 審査方法

### ① 第1次選考 書類審査

応募団体からの提出書類及び活動紹介動画と実行委員会が必要に応じて提出を求める資料・書類について書面審査を行い、本選考基準に基づいてオーラルセッション参加団体（24 団体程度）を選考します。（活動動画提出は、任意ですが加点対象となります）

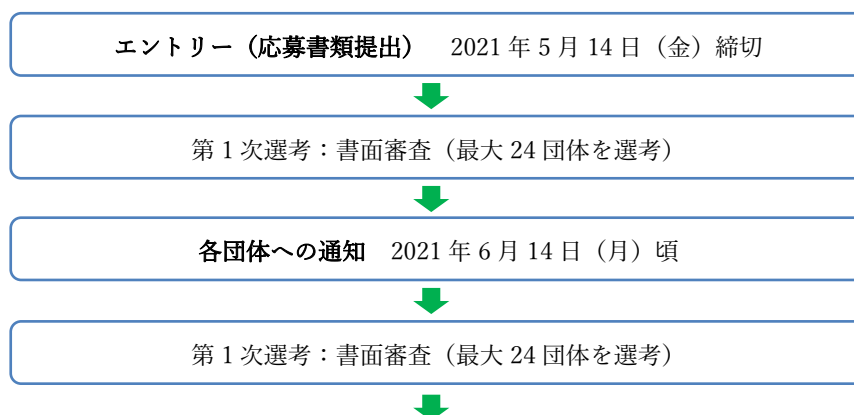
### ② 第2次選考 オーラルセッション本選

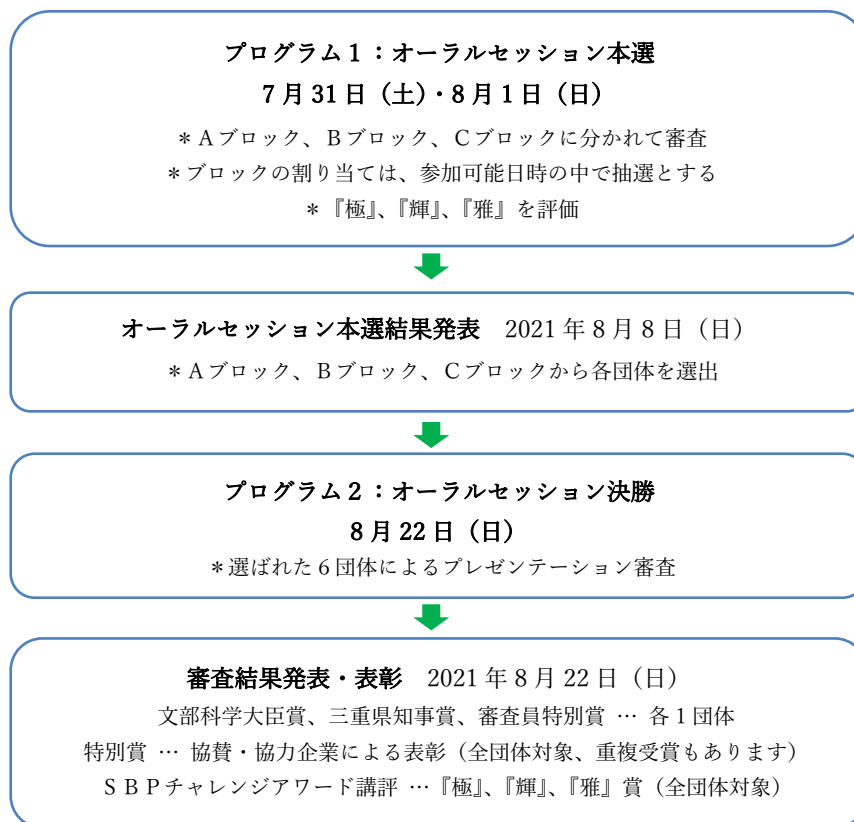
第1次選考で選ばれた団体はブロック別（A、B、Cブロック）に分かれそれぞれのオーラルセッション本選にて発表（オンライン）をおこないます。発表内容は審査員が絶対評価を行い、それぞれ『極』（90 点以上）、『輝』（75 点以上、90 点未満）、『雅』（50 点以上、75 点未満）の評価を行います。

また、各ブロックの上位2団体、計6団体についてはオーラルセッション決勝への出場団体として決定します。

## (2) エントリーからの流れ

エントリーからの流れは次の通りです。





### (3)発表内容

#### ① オーラルセッション本選

発表内容は、1. 団体名、2. 取組名(事業名)、3. 取り組み内容です。

Web会議システムを使ったオンラインでの発表となり、取り組み内容などを自由に発表していただきます。審査時間は、各団体それぞれ説明(5分)、質疑(5分)です。

当日の通信や機器不具合を回避するために、発表の一部は動画であらかじめ録画し、当日に利用します。団体ごとの発表場所・環境については各団体にてご準備ください。

#### ② オーラルセッション決勝

発表内容は、1. 団体名、2. 取組名(事業名)、3. 取り組み内容です。決勝は皇學館大学の講堂にて登壇して発表頂きます。審査時間は、団体それぞれ説明(10分)、質疑(10分)計20分です。なお、発表でプレゼンテーションソフトを使用する場合は、Microsoft OfficeのPower Point(最新版、2019を予定)を使用します。

### (4)審査基準

以下の項目を基準に総合的に審査します。詳細は(1)の②を参照ください。

- ① 取組に関する事 「主体性」「社会性」「事業性」「革新性」
- ② 当日の発表に関する事 「発表の内容と方法の工夫」「質問への応答」

### (5)表彰の種類

最優秀賞として文部科学大臣賞、優秀賞として三重県知事賞を授与するほか、審査員特別賞、各協賛企業の特別賞を授与する予定です。



## 11. 応募について

### (1) スケジュール

スケジュールは以下の通りです。

#### 【申し込みから当日までのスケジュール】

	内容	日程
1	公募開始 ※Web 公開	2021 年 3 月初旬
2	応募締切	2021 年 5 月 14 日 (金)
3	書類選考	2021 年 6 月 13 日 (日) まで
4	選考結果通知 ※メール・Web 公開	2021 年 6 月 14 日 (月)
5	オンライン練習会	2021 年 7 月 30 日 (金) まで
6	発表資料の提出 ※発表用動画を含む	2021 年 7 月 30 日 (金)
7	SBP 交流フェア プログラム 1 ・SBP チャレンジアワード本選	グループ A 2021 年 7 月 31 日 (土) グループ B・C 8 月 1 日 (日)
8	本選結果発表・講評	2021 年 8 月 8 日 (日) 午前
9	SBP 交流フェア プログラム 2 ・SBP チャレンジアワード決勝、交流会 結果発表・表彰式	2021 年 8 月 22 日 (日)

### (2) 応募方法

「未来の大人応援プロジェクト」ホームページからお申し込みください。

SBP 交流フェアのページ <https://mirai-otona.jp/sbpfair/> へアクセスください。

お申し込み後に、SBP 交流フェア用のユーザー名とパスワードを発行致しますので、その情報を利用して審査資料の提出をお願い致します。ご不明な点は「12 お問い合わせ先」をご覧ください。

### (3) 応募締切

2021 年 5 月 14 日 (金)

\* S B P チャレンジアワードに参加の場合は厳守とします。

\* 参加を検討しているが、参加に条件などがある場合はご相談ください。

### (4) 応募に当たっての留意事項

- ・ 地域（住民・市民活動団体、NPO等民間団体、企業、商工団体等、行政（役場等））との協働関係のもと、地域課題解決をテーマとした取組や、地方創生につながる取組であること。
- ・ スマートフォンやタブレットなどで撮った 1 分程度の取組紹介映像の提出をお願いしています。動画提出は任意ですが書類審査における加対象とします。参考映像は SBP 交流フェアのページをご覧ください。なお、1 分程度とは 50 秒～70 秒とさせていただきます、ホームページ上で学校紹介、取組紹介等と合わせて、紹介させていただくことがあります。

- ・ 応募に当たって参考になる資料がありましたら、申し込み時に一緒に提出ください。送付方法などは別途案内致します。
- ・ 御提供いただいた情報及び今後御提供いただく情報の利用目的は、次のとおりです。
  - ① 御本人・団体の確認
  - ② 応募の受付、審査及び審査結果の通知・発表
    - \* 応募用紙の情報（団体名、代表者名、取組名、活動内容等）をホームページ等で公表することがあります。
  - ③ アンケートの実施等による調査・研究及び参考情報の提供
- ・ 審査内容についての個別の問い合わせには応じられません。また、応募書類等の返却はいたしません。
- ・ 虚偽の事実や盗用等が判明した場合は、結果発表後においても受賞を取り消すことがあります。
- ・ 応募プランに関する全ての権利（著作権、肖像権、特許権、商標権等）については、必要に応じて予め応募者が行ってください。これらの権利に関して第三者から異議や請求等があった場合は、応募者の責任において処理していただきます。
- ・ フェア開催中に関係者が撮影した写真や動画につきましては、広く SBP 活動を紹介するためホームページ等で公開し利用させていただきます。

#### (5) 応募後の連絡

提出いただいた書類をもとに、開催趣旨と上記アワードの基準に沿って事務局で選考をし、結果をお知らせいたします。ただし、御提出いただいた書類の内容について不明点等がある場合は、事務局から問い合わせのうえ再提出を依頼することもあります。参加が決まった団体については、パンフレット掲載の内容や参加人数等を決めていきます。

## 12. お問い合わせ先・運営

### ●お問い合わせについて

未来の大人応援プロジェクトホームページ (<https://mirai-otona.jp/>) にてご確認いただき、御不明な点は下記に御連絡ください。

お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 事務局担当： 山岡 茂治、 岸川 晃大

メールアドレス： [sbpfair@mirai-otona.jp](mailto:sbpfair@mirai-otona.jp) または [info@mirai-otona.jp](mailto:info@mirai-otona.jp)

電話：070-3824-8843（山岡携帯） 住所：〒516-0074 三重県伊勢市本町 8-11

### ●運営

主催： 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」